

5 区のガイドブック

2013 年 人口: 2 7 3 4 2 人

設立年: 1 8 7 3 年 1 1 月 1 7 日

人口密度: 1 0 5 5 7 k m 2 人

市領: 2, 5 9 k m 2

郵便番号: 1051



エリザベート広場

位置: ブダペストとは、ヨーロッパ真ん中の金融の一大中心地の一つである。ヨーロッパで最も綺麗な町だと言われている。この中でも、5区は首都の最古の区である。

5区には2つの大きい地域がある。1つはLipótvárosという場所である。もう1つはペスト側の都心部である。マルギット橋から、自由の橋までに位置している。首都で最も綺麗な場所だと言われている。その場所の中にあるにほとんど全てのものは、首都において最古のものである。



自由橋

2 番のトラム

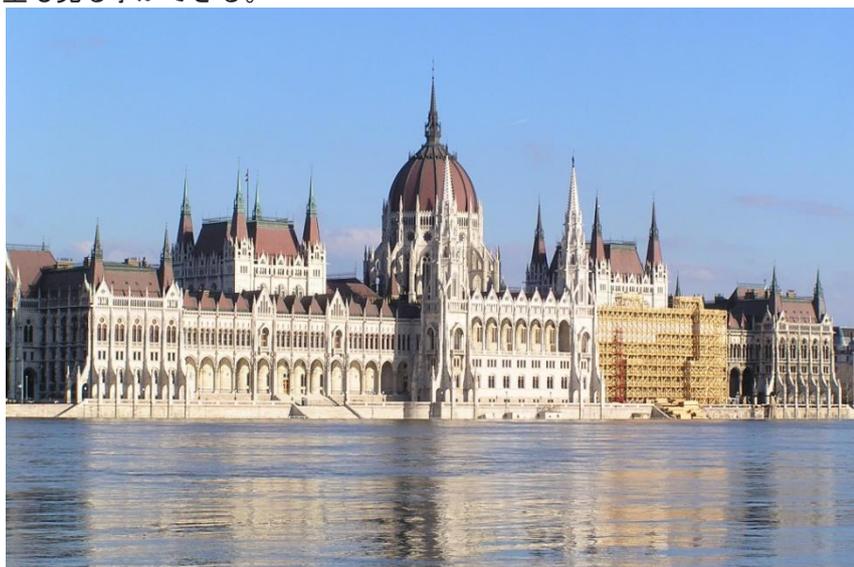


北からは13区、東からは6, 7, 8区また南からは9区に囲まれている。首都の繁華街の中心でありハンガリの金融の一大中心地の一つである。商売、貿易センター、株式取引所、銀行、娯楽施設、そしてデパートなどがここに集中している。すごく賑やかな雰囲気であり、そこに住んでいる市民はとてもしき生きとした生活を送っている。元々の町の歴史は11世紀に始まり、マーチャーシュ王様支配の頃にこの地域の発展は目を見張るものだったという。しかし、その時は現在のペストはまだ存在していなくて、現代の国宝としてみなされている3つの古代町の門にだけにしか囲まれておらずとても小さい街であった。現代の町はブダペストとオーブダが統合した1873年11月17日に設立されたという。観光都市の5区が魅力で観光資源も観光施設もハンガリーの他の地域よりも非常に優れていて、多くの客にとっては素敵な観光地の一つである。5区は国会議事堂、聖イシュトバーン大聖堂、ハンガリーの国立銀行、ペストビガドウ、デアーク広場、カールビン広場、ハンガリーの民族博物館など様々な名所もある。特に私が好きな場所はエリザベット広場という所である。しかし、エリザベット広場の隣にあるデアーク広場と間違える観光客も多いのである。今日見られているレストランや喫茶店は昔からではなく、2年前できたものである。以前は、バスターミナルがあり、それほど賑やかではなかった。



しかし、現在は毎週コンサートがあり、様々なイベントも多々行われている。後ろにある公園はとても素敵で、噴水やバスケットボール場もあり、リラックスすることもできる。エリザベット広場からドナウ川に向かって行くとイギリス大使館が見えてくる。その後、横断歩道を渡り右に行くとバーチ通りに着く。そこでは首都の最高級の土産物が売られているので、お金に余裕があるなら親戚や友達に贈り物やお土産も買う事ができ、有名なジェールボという喫茶店にも入る価値があるだろう。川の近くに着くと2番のトラムが走っている。これで5区と2区をつないでいるマルギット橋の終点駅まで行くことができる。途中で見事な国会議事堂も見ることが出来る。

国会議事堂





5区の有名人
バイチジリンスキエンドレ

(Bajcsy Zsilinszky Endre)バイチジリンスキエンドレとはハンガリーの有名な政治家であり、記者であった。

オーストリア・ハンガリー二重帝国時代の1886年6月6日に生まれた。



父は裕福な農場労働者であった。母についてはあまり情報がなく、おそらくエンドレの子供の頃に亡くなったと思われる。彼の義母とお父さん以外に兄弟が3人おり、彼は一番下の子供だった。国立過激党の設立者として知られ、第一次世界大戦争の頃、民衆に尊敬された人であった言われている。高

校を卒業した後、ベーケシュチャバ大学で哲学、また法学と経済も学び、性格は気配りができる人であったと言われている。さらに多くの新聞や雑誌の編集長、編集責任者としても働いた。例えば、(Szabadság)自由とか(Független Magyarország)独立ハンガリーという新聞などで勤め、共産主義体制の頃国立に対して述べた意見において、評判の高い人として国に多くの支持者がいた。しかし、1944年3月19日にブダ側にあるアパートでゲシュタポという組織の兵士に逮捕され、収監されることになった。そこで刑務所長の許可をもらい、自分の秘書と公式的に結婚したという。何回も残酷な拷問にかけられて、ショプロンの地域に近い刑務所に連れて行かれ国民対罪のため絞首刑になった。全国にある施設、建物、学校や道などは彼にちなんで名前を付けられたという。例えば、私の故郷18区を2つに分けるメインロードや通っていたバイチジリンスキエンドレ小学校もまた、彼の名前にちなんで名付けられている。5区にも無数のバイチジリンスキエンドレ像や記念碑がある。

聖イシュトヴァーン大聖堂

聖イシュトヴァーン大聖堂とはブダペストの中で一番大きなローマカソリック教会であり、ハンガリーの中では三番目に大きい。昔は、現在の教会の代わりに小さな礼拝堂があった。1838年に、洪水が発生した時には小山に位置するこの礼拝堂のお陰で、たくさんの人々が救われたと言われている。しかし、より大きい教会を建設する名案が(Hild József)ヒルドヨウゼフと言う建築家から出された。現在、5区のセントイシュトバン広場の真ん中にある。



外見は高さは96メートルであるが、内部の天井は65メートルの高さである。建物は、ネオクラシック、ネオルネサンスとネオバロックの3つの様式で建てられている。

入り口入りすぐの壁の上には、"Ego sum via, veritas et vita."「我が道であり、真実であり、人生である」と書いてある。その隣には両側に鐘塔が立っている。



これらの全てはパッサウと言う町から運ばれたものである。教会の内部はすごく魅力的で、建物は実に美しい色合いの大理石で出来ている。

これが作られた時、約 50 種類の色々な大理石が使われた。教会に入ると、絵や彫刻や像により、息詰まるような雰囲気を感じられる。何人かの有名な画家や彫刻家の作品を見ることができる。例えば、Stróbl Alajos シュトブルアラヨシュ, Zala György ザラジョウルジ, Lotz Károly ロツカーロイの作品が一番多い。彼らの後期の絵や彫刻や像は全て傑品とみなされている。



壁のフレスコ画やベージュ色のガラス窓を見ると、ハンガリーの歴史に重要な役割を果たしているたくさんの面白い場面に気づくことができる。例えば、ハンガリーの建国者として知られている最初のお王様であるイシュトバンの王冠式、また、他の指導者が戦争中どのように勝ったかについて描かれている。キュポラを見るとイエスの生涯についても描かれている。彼の出生、教師の姿、奇跡、また彼の復活が表されている。大聖堂内にある財産の価値は無限大であるが、聖なる右手は他の何よりも最も貴重である。これはミイラ化されたイシュトバーンの体の一部である。昔は持ち主がいっぱいいしたが、クロアチアのラグザ港で発見されたときにマリア・テレジア女王に買い戻され、ここに運ばれた。ハンガリーの有名な祝日8月の20日は、これを持って町を回る儀式がある。住所:

<1051 Budapest, Szent István tér 1> 開店期間:月曜日から金曜日まで午前9時から午後5時まで、土曜日午前9時から午後1時まで、日曜日午後1時から5時まで、電話番号(00-36)-1-311-08-39
URL><http://www.bazilika.biz/>

(Belvárosi Fesztivál)町中フェス

5区を中心では(Belvárosi Fesztivál)町中フェスというイベントが毎年7月中旬、週末に行われる。

フェスはデアークフェレンツ通り、エリザベート広場と自由広場そしてズリーニ通りにおいて開催される。参加は無料である。フェスの会場は綺麗に飾られ、賑やかで、人もたくさんいるので、すぐに見つけられる。この盛大な祭りでは人目を引くような目玉商品を買うこともできる。そして子供向けのプログラムや、その他の様々なパフォーマンスを見ることができる。特におもちゃの家訪問とか、映画上映はとても楽しい。さまざまな音楽様式の色々なコンサートを聞くこともでき、家族と一緒に過ごす場所としてはちょうど良い。コンサートに出演するハンガリーの音楽家は、例えば Brains と Irie Maffia とか TheCarbonfools など、多くが第一線で活躍している人で、一見に値すると思う。それゆえこのイベントは外国からも注目されており、人もたくさん来る。また、様々な伝統的な踊りもあるし、たまに格闘技のパフォーマンスを見ることが出来る。そして最近人気の高いストリートボールやフリースタイルサッカーのパフォーマンスもある。このフェスティバルのおかげで繁華街のお店も収入が増えるようだ。



Magyar Ízek Háza

パーティ通りに位置しているとても有名な典型的なハンガリー料理のレストランを紹介する。レストランは Magyar Ízek Magyar Háza 「ハンガリーの味のハンガリーの家」というケータリング施設である。2000年から営業している。住所は開店当時から相変わらず同じ 1056> Budapest, Váci utca> 78-80. である。祝日除いて毎日、週末を含んで朝9時から午後10時までやっている。このレストランは宅配だけではなく、レストランでも食べられる。外国人の観光客の中には「一体ここがなぜそんなに人気があるのだろう」と思う人もいるかもしれない。しかし、中に入ったらすぐわかるだろう。なぜかという、このレストランは宅配で有名だが、ほとんどすべての伝統的なハンガリー料理が売られているからである。パーティ通り周辺には味がよいレストランが多いが、その中でも私はここが一番だと思う。ここは、一流レストランなので、メニューを見る時、値段が高いメニューしか見つからないかもしれない。したがって、一般的な人々は、できるだけ安いものを選ぶかもしれない。私のお勧めの料理はグヤーシュスープである。確かにこのレストランは値段は高いが、とても素晴らしい雰囲気と高価な家具で落ち着いた雰囲気があるので、行く価値があるだろう。
[URL>http://xn--magyarzekhza-lbb7n.hu/](http://xn--magyarzekhza-lbb7n.hu/)



ハンガリーの国立銀行と中央市場の歩き方を紹介する。

最初にハンガリーの国立銀行へ行くとき、最も速い方法は三番線の地下鉄に乗り換えることである。どこからの方向に行っても必ずアラニューヤーノシュ駅まで行って、そこで降りないといけない。その後、駅をメインロード向きに出て、左に曲がり、バイチ・ジリンスキどおりに沿って上がって行って、セーチェニ通りまで来たら、その道を左に曲がり、道すじに通って歩き、最初の交差点を渡るとハンガリーの国立銀行がある。住所:<1054 Budapest, Szabadság tér 8-9>電話番号:(+36 1)[428-2600](tel:+3614282600)
開店時間:週日金曜日を除いて午前7時半から午後3時半まで、金曜日午前7時半から午後2時まで、週末開いていない URL><http://www.mnb.hu>
ハンガリーの国立銀行



中央市場（Nagyvásárcsarnok）ブダペスト市民の台所

地下鉄3号線カールビン駅から徒歩で5分ぐらいのところにある。また、47番、49番のトラムに乗っても行ける。この場合、次の停留所が中央市場である。ぜひご注意頂きたいのは、デアーク広場行きに乗らず、ブダフォク(Budafok)行きのトラムに乗らないとならないということである。

しかしながら、もし乗り越してしまっても大したことはない。次の駅で降りて、歩いて自由橋を渡って戻るとき、ドナウ川と首都の素晴らしい景色を楽しむことができるので。住所<1093 Budapest, Vámház krt. 1-3.>

開店時間: 週日月曜日を除いて午前6時から午後6時まで、月曜日午前6時から午後5時まで、土曜日午前6時から午後3時前、日曜日開いてない。

URL>http://www.kalauz.hu/vamhaz_koruti_vasarcsarnok_-_nagyvasarcsarnok

